

2018 (h30) .05.24

岡田 英

私と卓球と人生

1.卓球との出会い

- 1) 不入斗中時代
- 2) 横高時代
- 3) 慶應義塾大学時代

2.社会人となってから

- 1) 会社員
- 2) 米国へ遊学
- 3) 帰国後
- 4) 現在

慶大受験。ここで、また江川は不運に見舞われる。鍵は日本史だった。とにかく受験勉強のスタートが遅い。「過去問を分析すると現代史は出ていない。それは捨てよう」が予備校教師のアドバイスだった。が、試験では現代史が大きな問題として出題されたのだ。

合格発表の日。江川が見に行つた掲示板に自分の番号はなかった。「江川、慶大不合格」は昼のNHKのニュースで流された。当時、それほどの関心事だった。

実は、この不合格には裏がある。江川の試験の得点は前年の野球部合格最低点より上で、合格してもおかしくなかったという。

NHKも報じた「不合格」

16. 3. 16

4()

No.0463

慶大関係者の説明ではこうだ。その頃、私立大学で不正入試が頻発し、社会問題となっていた。江川は普通の年なら合格していたが、大学内部の議論の末、彼を一般の学生と同じレベルで扱うことが慶応ブランドの維持につながるかと判断したという。

中学のときに父に連れられて神宮球場へ早慶戦を見に行つて、そこで投げる姿を夢見たこともあった江川にとって、この挫折はショックだった。「でも、僕の学力が不足してたんです」。仕方なく進学した法大法学部2部（後に1部へ転部）。ところがそこで運命の出会いが待っていた。

私の思い出の船旅

1964 (s39) 年初春羽田よりホノルル～LA 経由でサンディエゴ郊外のアパートメント (中庭にプール付き) に到着、アメリカ滞在が始まりました。滞在中は西海岸の各地へ旅し、ラスベガスや時には隣へ国境を越え、隣国メヒコのティファアナやエンセナーダへも出かけました。ティファアナに大学同期生が居て、日本の雑貨品をスーベニア店に卸す商売をして居ました。

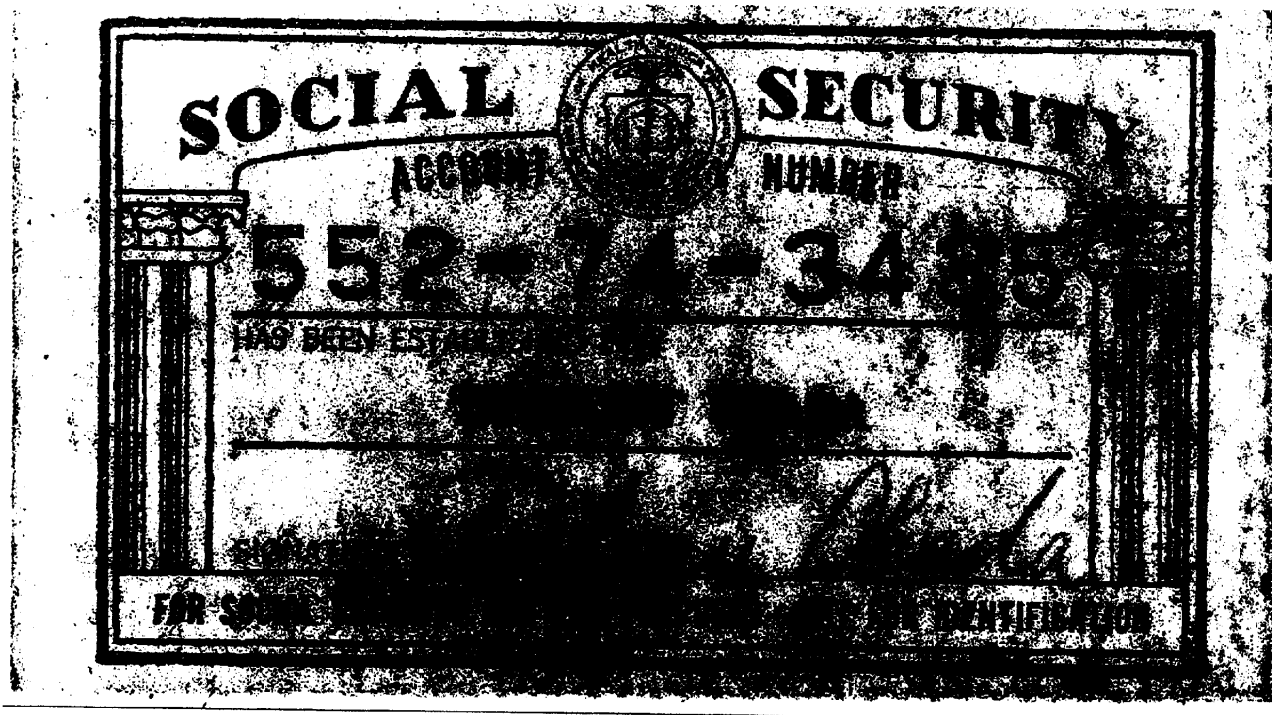
ある時には慶応マンドリンクラブが米国演奏旅行の途中、サンディエゴの南カリフォルニア大学で演奏会を開催し、久しぶりに慶応の歌を聴きかつ歌いました。滞在 3 か月位経った頃から、急に米語が聞き取れるようになり、また街中で見かける東洋人 (同胞も含め) の見分けが、嗅覚的に出来るようになりました。

短い滞米生活をエンジョイし後ろ髪を引かれる思いを持ちながら

1965 (s40) 年の春、サンフランシスコ港から APL の客船 (アメリカン・プレジデント・ウイルソン) 号で一郎帰国の途につきました。途中ホノルルで 2 泊したのち、横浜港の大桟橋まで約 2 週間の大変楽しい思い出の船旅でした。

船旅の船中でピンポン大会が行われ勿論楽勝の優勝で、ご褒美は一等船室の豪華な大食堂でのディナーのご馳走でした。優勝後は船員の待遇が一変し、女性客のパスポートの区分けなどさせられ、パーサ達と和気あいあいに過ごした次第でした。

船中の食事は 1 日 5 食 (朝・昼・おやつ・夕食・夜食) と、大変食べ過ぎました。



SEX	COLOR HAIR	COLOR EYES	HEIGHT	WEIGHT	MARRIED
M	Blk	Blk	5-8	145	no
DATE OF BIRTH			AGE	PREVIOUS LICENSE	
Sep 22 1937			26	Japan	
MUST WEAR CORRECTIVE LENSES <input checked="" type="checkbox"/>			d	SEE OVER FOR ANY OTHER CONDITIONS <input type="checkbox"/>	
OTHER ADDRESS					
X <i>Tsutomu Okada</i>					
CLASS 3. MAY DRIVE 2 AXLE VEHICLE, EXCEPT BUS OR-					